

第 1 0 章 啓発事業

本市では、地球環境及び地域環境の現状について多くの市民、特に次世代を担う子供たちに情報を提供することにより、市民一人ひとりが環境について関心を持ち、環境を守る取組みの第一歩を身近なところから始めてもらうきっかけづくりを目的として次のような啓発・広報活動を行っている。

１．こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、次世代を担う子供たちが主体的に行う環境学習及び環境保全活動を側面から支援することを目的として、平成 7 年度から環境庁（現環境省）が実施している。本市も平成 7 年 7 月、環境課内に「こどもエコクラブ」事務局を設置し、以来、年間 6 回程度の自主開催イベントによる啓発活動を展開している。平成 19 年度、本市からは 18 団体 513 人がこどもエコクラブ活動に参加した。

表 - 1 平成 19 年度こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況

団 体 名	会員数	団 体 名	会員数
子ども倫理塾	15	あすなろ子供会	29
八代ばんぺいゆクラブ	4	中田どっとねっと	2
昭和小 6 年エコクラブ	11	グリーンファミリー	4
山崎ファミリー	2	ひかり児童館 J E C	105
ガールスカウト熊本県第 22 団	15	わたなべファミリー	1
松高小学校エコクラブ	141	大坪ファミリー	1
松高エコレンジャー	8	日小 4 年エコ・エコクラブ	24
日小 5 年エコクラブ	22	NPO 法人ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ・ｴｽﾍﾟﾗﾝｽ熊本	90
たっくんファミリー	1	太田郷エーコクラブ	38

図 - 1 こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況の推移

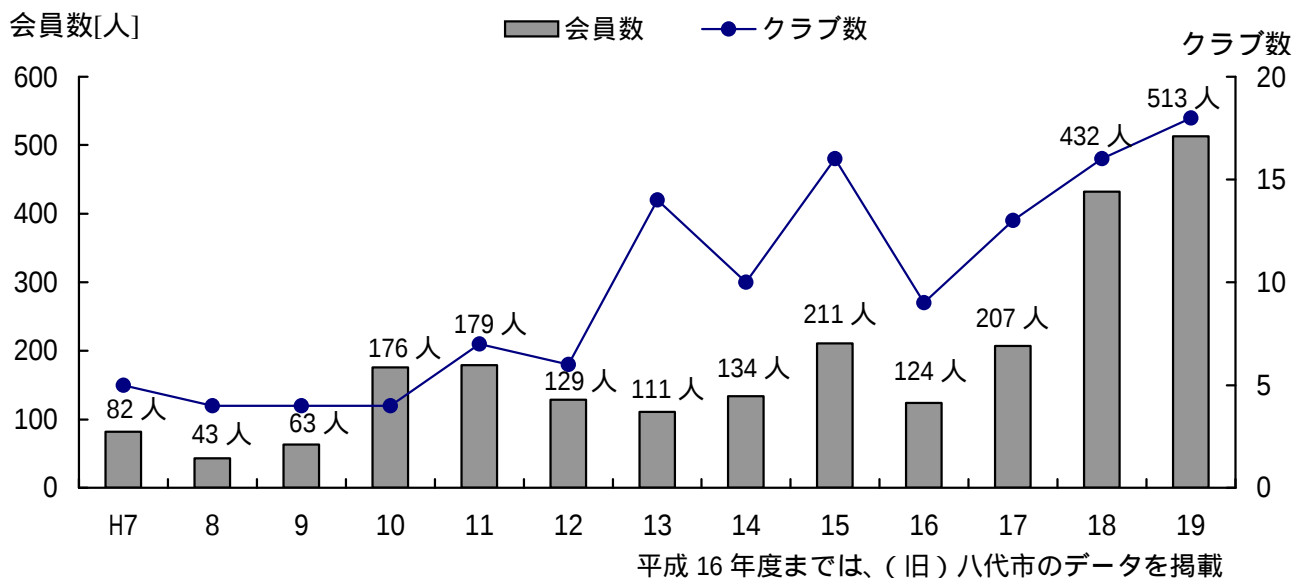


表 - 2 平成 19 年度こどもエコクラブイベント実績

イベント名	開催日	開催場所	参加人数
干潟観察会	平成 19 年 4 月 14 日(土)	大島干潟	31 人
ホタル鑑賞会	6 月 1 日(金)	ほたるの里公園	雨天中止
夏空スターウォッチング	8 月 10 日(金)	さかもと八竜天文台	36 人
カヌー教室	8 月 24 日(金)	氷川ダム	台風災害により中止
秋の山どり探鳥会	10 月 27 日(土)	春光寺・古麓歴史自然公園	35 人
冬の野鳥観察会	平成 20 年 1 月 26 日(土)	球磨川河口右岸堤防	36 人
春の七草取りと植物観察会	2 月 16 日(土)	二見出張所及びその周辺	36 人
合計			174 人

干潟観察会

干潟に生息する生き物の観察やアサリの浄化実験等を通して、干潟の浄化作用、多様性などについて考えてもらうことを目的として大島干潟で開催。

講師に八代高校生物科の田畑清霧先生を迎え、干潟や生き物について学習を行った後、干潟の生き物を観察した。



夏空スターウォッチング

全国星空継続観察参加によるもので、星空の観察という身近な方法による大気環境の調査を通じて市民の大気環境保全に関する認識を高めることを目的として開催。

星にまつわる面白い話や、光害について学んだ後、晴天に恵まれた空で「こと座のベガ」や木星等をさかもと八竜天文台の橋本建司館長の指導のもと観察した。



秋の山どり探鳥会

秋のさわやかな山道を散策しながら、付近に棲む野鳥たちの観察を行い、野生生物の棲み家である里山の重要性を考えることを目的として、春光寺・古麓歴史自然公園で開催。山道の中に聞こえる鳥のさえずりを聞き、サウンドリーダーで鳥の種類を確かめたり、時折姿を見せる鳥を双眼鏡で観察した。

サウンドリーダー：「声が聞こえる野鳥図鑑」に記載されているバーコードを読み取ることにより、鳥の鳴き声を再生できる機器。



冬の野鳥観察会

冬の渡りで球磨川河口に飛来する野鳥の観察を行い、身近な自然の大切さを認識してもらうことを目的として球磨川河口右岸堤防で開催。

最初にクイズ形式の学習会を行い、見られる野鳥やその生態について説明を行った後、球磨川河口に移動し鳥の観察を行った。



春の七草取りと植物観察会

立春後の野山の草花の観察を行い、春の七草を探しながら、植物について学ぶことを目的として二見出張所周辺で開催。

八代植物友の会の永松会長他、数名の会員を講師に、七草の名前の由来や特徴を学習した後、野外に出て観察・採集した。採集した七草は、おかゆ、天ぷら、胡麻和え等に調理して食し、日本の風習についても学んだ。



2. 環境学習出前講座「環境ゼミナール」

(1) 目的

環境行政に携わる市職員（環境課、廃棄物対策課及び清掃センターの職員）が直接出向き、地球環境問題をはじめ、私たちの生活に身近な環境や自然の状況について事例紹介等を行い、地球環境及び本市の環境の現状について考える機会を提供する。

(2) 派遣対象

市民団体、市内小・中特別支援学校、
市内保育園及び幼稚園



環境ゼミナールの様子

(3) 内容

小・中学校等の希望する講座内容にあわせ、事前打合せを行ったうえで、簡易実験等を取入れながら実施している。また、水生生物観察会、干潟観察会等の野外活動や自然観察についても対応している。



野外活動の様子：樹木が吸収するCO₂量の調査

(4) 平成 19 年度環境ゼミナール事業実績

平成 19 年度実績は下表のとおり。依頼内容としては、水環境に関する内容が多く、地球温暖化に関するものも増加傾向にある。平成 17 年度 (30 回、1,395 人) 平成 18 年度 (30 回、1,710 人) と比較すると件数、参加人数ともに同様の結果であった。また、小中学校だけでなく、様々な方面からの依頼も増加している。

	実施日	依頼元・人数	人数	内容
1	H19.4.19	千丁校区婦人会	60	環境問題全般
2	5.14	千丁校区婦人会	5	廃油せっけん作り
3	5.29	八代教育研究会小学校理科部会	25	八代の地層
4	6.12	八代小学校 (2 年生)	80	干潟観察会
5	6.14	日奈久小学校 (全校)	119	地球温暖化・ごみ問題
6	6.27	松高校区町内 (環境部)	12	環境施設視察
7	6.27	植柳小学校 (4 年生)	57	水環境
8	7.3	氷川中学校	48	ごみ問題
9	7.5	太田郷小学校 (5 年生)	140	水環境
10	7.10	泉第二小学校 (全校)	28	水環境
11	7.18	日置町老人クラブ	50	地球温暖化
12	7.18	豊原下第二いきいきサロン	10	地球温暖化
13	7.23	太田郷婦人会	60	水環境
14	8.22	麦島校区婦人会	50	水環境
15	9.5	泉第八小学校 (3,4 年生)	6	水生生物、水質
16	9.13	八千把小学校 (5 年生)	162	ごみ問題
17	9.26	植柳小学校 (4 年生)	57	ごみ問題
18	10.4	八千把小学校 (5 年生)	160	水環境
19	10.4,5	NPO 法人集いの家	8	廃油せっけん作り
20	11.19	植柳小学校	70	松葉ダイオキシン類調査
21	11.20	千丁小学校	65	松葉ダイオキシン類調査
22	11.28	鏡西部小学校	19	松葉ダイオキシン類調査
23	11.29	文政小学校	53	松葉ダイオキシン類調査
24	12.6	八千把小学校 (5 年生)	165	松葉ダイオキシン類調査
25	12.7	太田郷小学校	34	松葉ダイオキシン類調査
26	H20.1.15	日奈久老人会	30	地球温暖化
27	2.5,6	NPO 法人集いの家	10	廃油せっけん作り
28	2.14	次世代のためにがんばる会	100	球磨川河口クイズ、ごみ分別

年間 28 回・延べ 1,683 人

3. 環境月間等

(1)「環境月間」及び「環境の日」

6月5日は、ストックホルム国連人間環境会議の開催（昭和47年6月）を記念して決定された国連の「世界環境デー」である。日本においても平成3年度から、6月を「環境月間」とし、環境保全活動の重点推進を図っている。

また、平成5年11月に制定された「環境基本法」では6月5日を「環境の日」と定めており、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい事業を実施するよう明記されている。本市としてもクリーンな地域環境を維持、向上させるため次の活動を実施した。

平成19年度「環境月間」行事

行 事 名	期 日	内 容
市職員工コ通勤	6月中	毎週水曜日、マイカーによる通勤を控え、徒歩、自転車、バス等の公共交通機関を利用した通勤を励行した。
市広報紙掲載	6月1日	広報紙「広報やつしろ」に環境月間行事等を掲載し、広く市民に周知することで、環境保全意識の向上を促した。
市内一斉清掃	6月3日	環境美化推進委員、市政協力員の呼びかけにより町内の清掃を行い、生活環境の美化に努めた。
廃棄物不法投棄 合同パトロール	6月5日	通常の不法投棄監視指導員によるパトロールに加え、八代保健所と合同で市内の不法投棄場所を調査し、不法投棄者には指導を行った。
犬のフン害防止 パトロール	6月11日 ～15日	苦情の多い地域を重点的に広報車による啓発活動を実施した。
段ボール箱を使った 生ごみ堆肥化講習会	6月20日	燃えるごみの約半分を占める生ごみについて、手軽に楽しく取り組める段ボール箱を使った堆肥化を、市民に広めるための講習会を実施した。
浄化槽の立入検査	6月29日	八代市、八代保健所及び県浄化槽協会と合同で実施。使用者に適正な使用方法と維持管理の必要性を促した。
環境フェスティバル	7月1日	市民団体が主催する環境保全啓発イベントに参加した。パネル展示、チラシ及び啓発用品等の配布などを通して、環境保全について市民に啓発を行った。

(2) 平成 19 年度「環境衛生週間」

生活環境の保全及び公衆衛生を向上させるため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の施行日である 9 月 24 日（清掃の日）から「浄化槽法」の施行日である 10 月 1 日（浄化槽の日）までの期間「環境衛生週間」にあわせ、本市では次の活動を実施した。

平成 19 年度「環境衛生週間」行事

行 事 名	期 日	内 容
市内一斉清掃	9 月 24 日 ～ 10 月 1 日	環境衛生週間中に市政協力員の呼びかけにより、各町内の実情に応じて一斉清掃を行った。
犬のフン害防止パトロール	9 月 25 日 ～ 28 日	苦情の多い地域を重点的に広報車で啓発活動を実施した。
廃棄物不法投棄パトロール	週間中随時	廃棄物の不法投棄パトロールを行い、廃棄物の不法投棄防止、適正処理を促した。
浄化槽立入検査	9 月 27 日	各家庭の浄化槽を調査し、使用者に適正な維持管理を促した。
段ボール箱を使った生ごみ堆肥化講座	9 月 28 日	燃えるごみの約半分を占める生ごみについて、手軽に楽しく取り組める段ボール箱を使った堆肥化を、市民に広めるために外部講師を招いて講座を開いた。
環境美化推進善行者表彰	10 月 2 日	日頃から住みよいきれいな地域社会及び美しい街づくりに尽力している個人、団体を表彰し、その功績を称えた。
環境美化推進研修会	10 月 2 日	八代市廃棄物対策課の山下課長を講師に招き、「ごみと向き合い、環境と財布にやさしいライフスタイルへの転換」についての講演を実施し、啓発を行った。
ごみゼロ・リサイクルポスターコンクール表彰式	10 月 7 日	小学生を対象にポスターを募集し、その中から優秀作品を表彰し、その功績を称えた。

4 . 広報活動

本市では、環境に関する身近な情報をいち早く市民に届けるため、広報紙やメディアを活用した広報活動を積極的に展開している。

(1) 広報紙「広報やつしろ」

発行月日	掲載内容
4 月 1 日号	「干潟観察会」参加者募集 犬の登録と狂犬病予防集合注射 電気式生ごみ処理機購入に対する助成金申請の方法変更
5 月 1 日号	「ホタル鑑賞会」参加者募集 市民環境研究会員募集 浄化槽補助金
6 月 1 日号	6 月は環境月間（特集） 段ボール堆肥化講習会参加者 レジ袋声かけ運動の開始
7 月 1 日号	光化学スモッグ注意報発令中
8 月 1 日号	市営上片墓園使用者募集 夏休みこども環境特別企画「夏空スターウォッチング、カヌー教室」 一斉美化清掃活動「くまもと・みんなの川と海づくりデー」 浄化槽市町村整備推進事業審議会の傍聴者募集 犬を飼っているみなさんへ 空き地の雑草について
9 月 1 日号	今、環境市民の協力で（特集） ゴミの分別や段ボール堆肥化など
10 月 1 日号	ごみ減量化、資源の分別への協力 「秋の山どり探鳥会」参加者募集 10 月は 3 R 推進月間
11 月 1 日号	八代市営鏡墓地公苑使用者
12 月 1 日号	どやんかせんば！！地球温暖化（特集） 冬の野鳥観察会参加者募集 飼い主のマナーを守りましょう 楽しく簡単にできる段ボール箱生ごみ堆肥化 生ごみ処理機設置助成の申込み マイバッグ利用促進の啓発ポスターを作成
1 月 1 日号	ごみ減量に関する講演会 平成 19 年度「オリジナルマイバッグコンテスト」
2 月 1 日号	春の七草取りと植物観察会 家庭で出来るごみ減量化講座

(2) ラジオ「FM やつしろ」による放送

放 送 日	放 送 内 容
平成 19 年 4 月 9 日	エコクラブ募集、干潟観察会（エコクラブ事業）について
4 月 16 日	不法投棄監視員制度について
5 月 28 日	ホタル鑑賞会（エコクラブ事業）について
6 月 18 日	正しいごみの出し方について
7 月 2 日	ごみの減量化について
7 月 9 日	こどもエコクラブ夏イベント、きれいなまちづくり協定について
8 月 13 日	八代の地下水と補助制度について
8 月 27 日	合併処理浄化槽について
9 月 3 日	環境行政について
10 月 1 日	マイバッグキャンペーンについて
10 月 22 日	エコキッチン（エコクラブ事業）について
11 月 19 日	秋の野鳥観察会（エコクラブ事業）について
12 月 3 日	年末・年始のごみ収集について
平成 20 年 2 月 25 日	ごみの減量化について
3 月 3 日	狂犬病予防注射について
3 月 17 日	ごみ堆肥化容器設置費設置補助について

(3) その他

環境フェスティバル（本町アーケード、平成 19 年 7 月 1 日）

例年、八代の環境を考える会が環境月間行事の一環として開催している「環境フェスティバル」に参加した。約 20 の市民団体が参加しており、市も市民団体の自主的な環境保全啓発活動に平成 7 年度から参加している。

平成 19 年度は、廃油石けんや、生ごみ堆肥化に関するパネル展示、環境問題に関するアンケート、バイオディーゼル車の展示等を行った。

やつしろ広域環境フェスタ（球磨川河川敷スポーツ公園、平成 19 年 11 月 16 日～18 日）

八代市郡で構成される八代広域市町村圏が共催した「九州国際スリーデーマーチ」の 1 イベントとして開催。地球温暖化をはじめとした環境問題について、圏域住民が一体となって取り組み、自然豊かなすばらしい「やつしろ」を次世代に引き継ぐ啓発の場となることを目的とし、環境パネル展示、アルコロジー、ふろしき講習会などを行った。

